

平成二十六年事業報告

1、教化研究会議

【一】第四十七回中央教化研究会議

期 日 平成二十六年九月三日（水）・四日（木）

会 場 日蓮宗宗務院

参加人数 一二二名

資料展示 教区教研や教化センターが作成・発行し

た教化資料・発行物の展示を実施。

テーマ 五十年後の日蓮宗を考えるー人口減少時

代の教化学

開催趣旨（開催要綱原文のまま）

昭和三十九年四月七日、現代宗教研究所が設立

されました。東海道新幹線が開業し、東京オリ

ピックが開催された年のことです。公明党が結党

された年でもありました。爾来五十年、戦後復興、

高度経済成長、バブル経済、バブル崩壊からの失

われた二十年と、まさに激動の半世紀にあって、

新宗教、平和問題、過疎問題を始めとして、様々な問題に取り組んで来ました。

次の五十年は、一体どんな時代になるのでしょうか。

五十年前に、現在の日本や日蓮宗の姿を正確に予想することは難しかったでありましょうし、いま五十年後のことを考えても、予測通りになると思えません。しかし、未来を見つめることこそ、人の人たる所以の一つであり、この機会に、五十年後という時間を設定して未来を考えてみることは、決して意義のないことではない筈です。

平成十七年、日本は初めて人口減少を記録しました。平成二十三年以降は減少が続き、この傾向は今後加速すると見込まれています。人口減少時代が到来しているのです。

平成二十四年に実施された宗勢調査では、檀信

徒数の増減に対する質問で、「減った」が「増えた」を初めて上回りました。

我が国も我が宗門も、希望に満ちているわけではない新しい新しい時代を迎えていると言わねばなりません。

本年の中央教研は、五十年後の我が国と我が宗門を考える上での最重要問題とも言うべき、人口減少問題について学び、次の五十年を見据えつつ、人口減少社会に於ける寺院・僧侶の果たすべき役割と可能性とについて考える教研会議としたいと考えます。

そこで、まず、現宗研所長三原正資が基調報告として、「現宗研の五十年、日蓮宗の五十年」と題して来し方を総括し、宗教社会学者で、人口減少問題の宗教への影響や過疎地域寺院問題の研究でも知られる北海道大学大学院文学研究科の櫻井義秀教授に「人口減少社会と現代宗教の課題」と題する基調講演をして頂いた上で、四つの分科会に分かれて多角的な観点からの五十年後を見据え

た問題提起と討議を行い、人口減少時代を踏まえた日蓮宗の在り方、教化方法についての「五十のオピニオン」としてまとめたいと考えます。

また、締め括りに、未来の教化学を検討するには、「サトリ世代」と言われる現代の若者については、博報堂ブランドデザイン若者研究所リーダーであり、日本テレビ系朝の情報番組のコメンテーターとしても活躍されている原田曜平氏による「サトリ世代とは何か―若者の心の掴み方」と題する記念講演をして頂き、結びとします。

開催方式

- ① 基調報告「現宗研の五十年、日蓮宗の五十年」
三原正資（日蓮宗現代宗教研究所長）
- ② 基調講演「人口減少社会と現代宗教の課題」
櫻井義秀（北海道大学大学院文学研究科教授）
- ③ 基調報告、基調講演を問題提起として、テーマに関連した左記の四分科会を開催します。

I 現代教化学部門「1」

五十年後のお題目を考える

II 現代教化学部門「2」

成長主義を問い直す―五十年後のエネルギー

―と宗教者―

III 現代教団部門「1」

五十年後のお寺と女性たち

IV 現代教団部門「2」

五十年後の寺院と宗門をデザインする

- ④全体会議で四分科会の報告を聞き、テーマ「五十年後の日蓮宗を考える―人口減少 時代の教化学」にそくし、「五十のオピニオン」としてまとめます。

- ⑤記念講演「サトリ世代とは何か―若者の心の摑み方」

原田曜平（博報堂ブランドデザイン 若者研究

所 リーダー）

- ⑥各教区教研会議報告書や討議資料、管区並びに教化センターで作成された教箋等の教化資料を展示し、教化情報のコーナーで宣伝します。各

寺院教会結社や個人有志で発行のものは、各管

区（教化センター）に委託してください。

参加者

教区教研運営委員、或いは内容に関心がある教師。

【2】教区教化研究会議

十一教区にて開催。日時・テーマは次の通り。

- 第三十八回中四国教区教化研究会議

平成二十六年六月五日～六日 島根県

出雲ロイヤルホテルにて開催

テーマ「いのちに合掌 現代社会に目を向けて

現代社会における僧侶の役目―我々が求

める道とは―」

基調講演「新型出生前検査の起源を問う」

渡部麻衣子氏（東京大学大学院）

3分散会

全体会議

- 第三十四回九州教区教化研究会議

平成二十六年六月十日～十一日 福岡県

ANAクラウンホテルにて開催

基調講演 「『輝くいのちを生きる』～いのちはどこ

から来て、どこへ行くのか」

内田美智子氏（助産師・思春期保健相

談士）

3分科会

第1分科会 「いのちの始まり・生きる」

第2分科会 「いのちを育てる・食育」

第3分科会 「いのちの終わりに・ターミナルケ

ア」

全体会議

● 第四十三回近畿教区教化研究会議

平成二十六年七月九日 京都府第二部

舞鶴市総合文化会館にて開催

テーマ 「舍利供養を考える」～散骨は、すべき

でない」

基調講演 長澤宏昌師（山梨県遠妙寺住職）

3分散会

全体会議

● 第三十八回北海道教区教化研究会議

平成二十六年八月二十六日

北海道東部 JRイン帯広にて開催

テーマ 「いま、葬式仏教を考える」

基調講演 「寺院を取りまく環境の変化」

小谷みどり氏（第一生命経済研究所主

席研究員・身延山大学客員教授）

4分散会

全体会議

● 第三八回中部教区教化研究会議

平成二十六年九月二十九日 愛知県名古屋

法音寺にて開催

テーマ 「現代社会における寺院・僧侶の役割」

基調講演 「未来に向けて期待される僧侶像」

池上幸保氏（日蓮宗全国檀信徒協議会

長）

3分科会

第1分科会 「伝統仏教の魅力をいかに伝えるか」

第2分科会 「人口減少社会にいかに対応するか」

第3分科会 「地域社会に於いて寺院の役割をいか

に高めるか」

全体会議

●第三十二回東北教区教化研究会議

平成二十六年十月九日～十日 青森県 ベストウ

エスタンホテルニューシティ弘前にて開催

テーマ「現代の葬儀事情について―寺院側から見

た葬儀と葬儀業者から見た葬儀」

基調講演「現代の葬儀事情について―葬儀業者か

ら見た葬儀」

松江英寿氏（有限会社松江造花仏壇店

専務）

基調講演「現代の葬儀事情について―寺院側から

見た葬儀」

田端義宏師（青森県永昌寺住職）

3分散会

全体会議

パネルディスカッション

●第三十一回北陸教区教化研究会議

平成二十六年十月二十九日 新潟県西部

ホテルハイマートにて開催

テーマ「私のお題目観：次世代を視野に入れなが

ら、お題目を伝える活動を原点から改め

て考えていこう：」

基調講演「みななどお題目、総点検―唱えよう口

心に共に身に―」

中村潤一師（福岡県眞浄寺院首・日蓮

宗現代宗教研究所顧問）

2分散会

全体会議

●第三十九回京浜教区教化研究会議

平成二十七年一月二十八日 神奈川県第二部

メルキュールホテル横須賀にて開催

テーマ「法華系新宗教の動向と宗門の対応」

基調講演「近世近代日蓮教学の問題点」

小野文瑠師（群馬県天龍寺住職・立正

大学教養部助教授）

事例研修「法華系新宗教の攻勢と対応策」

大埜慈誠師（神奈川県薬王寺住職）

グループ討議

●第三十九回山静教区教化研究会議

平成二十七年二月九日 山梨県第一部

下部ホテルにて開催

テーマ「安穩な社会づくり」のための僧侶の役

割を考える」

基調講演「『葬儀の未来考』～未来に葬儀は生き

残れるのか～」

碑文谷創氏（葬送ジャーナリスト・雑

誌『SOGI編集長』）

パネルディスカッション

●第二十一回北関東教区教化研究会議

平成二十七年二月二十日 栃木県

ホテル東日本宇都宮にて開催

テーマ「人口減少時代の寺院のあり方を考える」

宗勢調査の分析から」

基調講演「宗勢調査にみる本宗のすがた」

原一彰師（日蓮宗現代宗教研究所研究

員・北海道護国寺住職）

3分散会

全体会議

●第三十二回千葉教区教化研究会議

平成二十七年二月二十五日 千葉県西部

ロイヤルヒルズ木更津ビューホテルにて開催

テーマ「～千葉県再考～『がんばろう!! 千葉県

から』

基調報告 アンケート報告

3分科会

第1分科会「僧侶と僧侶の関係」

第2分科会「僧侶と檀徒の関係」

第3分科会「僧侶と社会の関係」

全体会議

【3】研究集会

●日蓮宗京都府第一部宗務所 教化学研究会議

平成二十六年六月二十三日 京都府第一部

本山本法寺涅槃會館にて

テーマ「これからの寺院の可能性」

講演「社会と寺院」

鷲田清一氏（大谷大学教授）

パネルディスカッション

2、研究・調査活動

【1】 下記の各プロジェクトチームにおいて、それぞれ研究・調査を進めた。

●現代教化学部門

〔古河良啓・岩田親静・蓮見高円・藤崎善隆・小瀬修達・川口智徳・マコーミック龍英・大乘文晴・各研究員、灘上智生・伊藤康裕・馬島浄圭・梅森寛誠各嘱託〕

① 現代教化学研究（「お題目の違い」ブックレット、
ト、興門系教団教学）

② 科学と宗教（生命倫理、原発、環境等）

③ 海外宗教学研究

●現代教団部門

〔坂輪宣政・小林康洋・河崎俊宏・鈴木是妙・池浦英晃・中村龍央・鶏内泰寛・延本妙泉・山口功倫・齋藤宣裕・原一彰各研究員、山田孝行・馬渡竜彦・石原顕正・野村佳正・松田英秀・柴田章

延・成田東吾各嘱託〕

① 社会と宗教（人権、寺庭婦人）

② 社会と寺院（人口減少、過疎地寺院、防災）

③ 日蓮宗近現代史（日蓮宗アーカイブズ）

④ IT（中央教化センター機能・相互ウェブ会議・現宗研HP）

●宗勢調査特別PT

〔岩田親静・池浦英晃・原一彰各研究員、灘上智生嘱託〕

●墓地使用約款特別PT

〔古河良啓・藤崎善隆・小林康洋各研究員、馬渡竜彦嘱託〕

●教研会議と教化センター

〔坂輪宣政・古河良啓・岩田親静・小林康洋・河崎俊宏・鶏内泰寛・川口智徳各研究員、灘上智生・松田英秀・梅森寛誠各嘱託〕

●創立五十周年企画会議

〔岩田親静・小林康洋・河崎俊宏・中村龍央各研究員、灘上智生・松田英秀各嘱託、田澤元泰・石川

浩徳各顧問

●研究例会

(坂輪宣政・古河良啓・岩田親静・蓮見高円・藤崎善隆・小林康洋・小瀬修達・河崎俊宏・鈴木是妙・池浦英晃・中村龍央・鶏内泰寛・川口智徳・延本妙泉・山口功倫大乗文晴・齋藤宣裕・原一彰各研究員)

●顧問会

(田澤元泰・蓑輪顕量・星光諭・石川浩徳・中村潤一各顧問)

【2】公開研究会を開催した。

●平成二十六年十一月二十日、第二十五回法華経・日蓮聖人・日蓮教団論研究セミナーを宗務院に於いて開催した。

テーマ「五十年後の心を考える」

講演「五十年後の日本を考える」

慶應義塾大学法学部教授 元総務大臣

元鳥取県知事 片山善博氏

「五十年後の生命を考える」

京都大学 i P S 細胞研究所上廣倫理研究部

門特定准教授 八代嘉美氏

「五十年後の寺院を考える」

立正大学学園理事長 元日蓮宗伝道部長

常圓寺住職 古河良皓師

シンポジウム

●二月五日、第十五回日蓮宗化学研究発表大会を宗務院に於いて開催した。

「ブリタニー・メイナードさんの死に際して」尊

厳死問題を考える」蓮見高円師(千葉県實相

院修徒・現宗研究員)

「宗教心理学から見た教化の一考察」慰霊行動と

それに関わる意識について」

津幡法胤師(福井県掟光寺修徒)

「法華経にみる經典読誦の意義」

吉木祥介師(山口県常妙寺修徒)

「韓国における現地語のお題目に就いて」

佐久間晴年師(東京都常圓寺修徒)

「過疎地域寺院の現状と課題」石川県第二部(能

登) 管内アンケートをもとに」河崎俊宏師

(石川県妙相寺住職・現宗研研究員)

「過疎地寺院活性化の一試案」お寺シードバンク

構想について」山口功倫師(熊本県宗覚寺修

徒・現宗研研究員)

「法華経と御書に学ぶ奏楽の淵源と現在」

三谷祥祁師(大阪府観世音寺住職)

「LEDと法華経」

萱間顕誠師(徳島県法華寺前住職)

「二十年目の神戸」『「救援者から慈悲行の実践」

石原顕正師(山梨県立本寺住職・現宗研嘱託)

「老いに向き合う教団宗教を考える」

井出存祐師(群馬県實相寺院首・臨床宗教師)

「戦争観の変化と集団的自衛権について」宗教者

の立場から」野村佳正師(福井県蓮尚寺修

徒・現宗研嘱託・防衛省防衛研究所戦史センタ

ー主任研究員)

「特別シンポジウム「現代と宗教」を考える」

野坂法行師(千葉県妙嚴寺住職・全国布教師会

連合会会長)

影山教俊師(千葉県釈迦寺住職・現宗研元顧

問)

赤堀正明師(千葉県常不軽寺住職・現宗研元主

任)

大西秀樹師(京都府松林院住職・現宗研元嘱

託)

竹内祥起師(大阪府妙見閣寺住職・現宗研元嘱

託)

【3】研究例会

● 研究員が各自のテーマに沿って研究・調査を行い、
研究発表を行った。発表テーマと発表者は次の通
り。

○ 「仏教と国家の関わり」

藤崎善隆師

○ 「過疎地寺院を取り巻く現状と今後」能登地方の

寺院の現状から」

河崎俊宏師

○ 「人口減少時代の教化学」

大乘文晴師

○ 「日本国憲法の保障する『基本的人権』とは

」

鈴木是妙師

○「科学と仏教」現代のエネルギー問題概観」蓮見高円師

○「お寺シードバンク」 山口功倫師

○「社会学的成果、とくに家と人口からみた近世寺檀関係」他二稿 坂輪宣政師

○「宗勢調査報告の分析」 原一彰師

○「死刑制度を考える」 鶏内泰寛師

○「海外日蓮宗における英語読経事情を考える」神力品」 川口智徳師

○「終活問題をめぐって」 岩田親静師

○「戦後日本の社会変動による宗教への影響」石井研士の神社神道に関する論考を手がかりとして

― 池浦英晃師

○「ソーシャルキャピタルと宗教」社会関係資本基盤形成に寄与する寺院の在り方を考える」小

林康洋師

○「宗学」について 古河良啓師

○「中世における京都町衆研究の課題」齋藤宣裕師

【4】現地調査

●五月十九日、神奈川県座間基地に於いて、現地調査を行った。

●六月十一日、大分県豊後高田市に於いて、現地調査を行った。

●十一月十五日～十七日、平成二十六年日蓮宗研究員研修会議を行った。

3、出版・資料収集

【1】「現代宗教研究」第四十九号を編集し、配付予定。

【2】教団史研究資料の一つとして、各種資料より「平成二十五年日蓮宗年表」を作成し、配布予定。

【3】「現代宗教研究」別冊として、「教化学研究6」を作成し、配付予定。

【4】新宗教関係資料を収集し、保管した。

【5】各種伝道教化に関する資料を収集し、保管した。

【6】伝道・教化・研究に必要な図書を購入した。

【7】今年度購入・寄贈図書のコМПユータ管理のための蔵書整理とデータ作成を行った。

4、研究交流・会議

【1】四月二十四日、真宗大谷派宗務所に於いて、「教

団付置研究所懇話会 第十三回年次大会」第二回
実行委員会」が開催され、出席した。

【2】五月十日、駒澤大学に於いて、「日本近代仏教史
研究会 第二十二回研究大会」が開催され、出席
した。

【3】五月十四日、宗務院に於いて、「教区教研連絡会
議」を開催した。各教区教研の前年度運営委員代
表と本年度運営委員代表、及び次年度運営委員代
表が出席して、前年度の報告と本年度の計画を聞
き、教研会議運営について話し合った。

【4】五月十五日、宗務院に於いて、「教化センター連
絡会議」を開催した。会議では、各センター発行
の布教・教化・伝道資料の交換が行われるととも
に、センター運営に関する問題点と各センター間
の交流推進について話し合った。

【5】六月十三日、第一ホテル両国に於いて、「東京四
部布教講習会」が開催され、出席した。

【6】六月十四日、白鷗大学に於いて、「第六十八回宗
教法学会」が開催され、出席した。

【7】六月十七日、國學院大学に於いて、「日本宗教連
盟 第三回宗教文化セミナー」が開催され、出席
した。

【8】六月二十八日、立正大学に於いて、「シリーズ日
蓮」第一回公開講演会」が開催され、出席した。

【9】七月三日、真言宗豊山派宗務所に於いて、「第一
回人權問題連絡協議会」が開催され、出席した。

【10】八月二十七日、東京大学に於いて、「宗教者災害
支援連絡会」が開催され、出席した。

【11】九月十日、京都府東本願寺に於いて、「教団付置
研究所懇話会 第十三回年次大会」第三回実行委
員会」が開催され、出席した。

【12】十月十六日、京都府東本願寺に於いて、「教団付
置研究所懇話会 第十三回年次大会」が開催され、
出席した。

【13】十月二十五日、高野山大学に於いて、「東洋大学
国際哲学研究センター共催「第五回宗教と環境シ
ンポジウム」」が開催され、出席した。

【14】十一月七日、京都府聞法会館に於いて、「浄土真

宗本願寺派総合研究所「公開講座」が開催され、出席した。

【15】十一月七日、八日、身延山大学に於いて、「第六十七回 日蓮宗教学研究発表 大会」が開催され、出席した。

【16】十一月十三日、杉並区セレニティホールに於いて、「日本宗教連盟 第七回宗教と生命倫理シンポジウム」が開催され、出席した。

【17】十一月二十六日、兵庫興隆学林に於いて、「シリーズ日蓮」第三回公開講演会」が開催され、出席した。

【18】十二月九日、京都府聞法会館に於いて、「浄土真宗本願寺派総合研究所 公開講座」が開催され、出席した。

【19】十二月十三日、立正大学に於いて、「第一回石橋湛山研究学会」が開催され、出席した。

【20】平成二十六年一月十三日、新宿常圓寺に於いて、「本化ネットワーク例会」が開催され、出席した。

【21】二月六日、野村證券株式会社に於いて、「全日本

仏教会 時局対策セミナー」が開催され、出席した。

【22】二月六日、台東区浄延院に於いて、「第一回女性研究者の講義を聞く会」が開催され、出席した。

【23】二月十三日、宗務院に於いて、「教団付置研究所懇話会 第十三回年次大会」第一回実行委員会」が開催され、出席した。

【24】三月七日、立正大学に於いて、「シリーズ日蓮」第四回公開講演会」が開催され、出席した。

5、講演

【1】韓日佛教学術forum

平成二十六年十月八日開催 大韓民国慶熙大学講演「現代における宗教の意義」

三原正資（現代宗教研究所長）

【2】寶土寺信徒研修

平成二十六年十月九日開催 寶土寺

講演「日蓮宗とSGI」

三原正資（現代宗教研究所長）

【3】立正安国・お題目結縁運動第二期記念講習会

平成二十六年十月二十六日開催 徳島県壽量寺

講演「弱い自分と向き合う方法―宮沢賢治のメッ

セージー―

三原正資（現代宗教研究所長）

【4】 福岡県布教講習会

平成二十七年三月二十六日開催 福岡県日蓮聖人

銅像護持教会

講演「人口減少社会とお寺の在り方」

高佐宣長（現代宗教研究所主任）